



地域組織の確立で  
会員間の絆の促進を



### 2019年度定期総会を開催

## 勇気と自信をもって確実な前進目指す

### 政策実現活動の推進など活動方針を確認

総会は那珂副会長の開会挨拶後、議長団に小川秀樹（東京）・伊藤純夫（京都）代議員

JAMシニアクラブは、9月5日JAM本部で役員と代議員51名が出席し第10回定期総会を開催。2019年度活動方針と予算、田中ひさや政策実現活動の推進に関する件などを審議、組織拡大、地域活動への参加と地域包括ケアへの対応、カジノ誘致反対運動など5名の方から意見要望を受けすべての議案を満場一致で決定した。活動を進めていくことと基幹労連が協力・連携して田中ひさやを国会に送りだすことが安倍政権をストップさせることに繋がる」と檄を飛ばした。

来賓のJAM安河内会長は「今年の春闘も中小が大手の賃金改善額を超えた。それは個別賃金要求で粘り強く交渉した結果だ」と胸を張り、そのうえで「田中ひさやは国民民主党から立候補することを確認した。基幹労連とJAMがタッグを組み田中ひさやを国会に送りJAM運動を国会に反映していく。力強いご支援をお願いいたします」と挨拶した。退

次々と日本列島が自然災害に襲われています。自然災害に対する取り組みを強化しなければなりません。シニアクラブの会員は昨年に続き減少しました。しかし、現役との連携強化懇談会を充実させ、現役と協力し会員の拡大へ歩みを進めましょう。

## 田中ひさや予定候補国会へ

### 社会保障負担増を止めよう

シニア会長 大山 勝也



### 主張

末の定期大会で、国民民主党を基軸にした政策実現活動の方向性と田中久弥組織内予定候補者の国民民主

針2018」では、介護保険の利用料を現在原則1割負担から2割負担へと、後期高齢者医療制度の窓口負担を2割にすることなど、負担増を進めようとしています。しかも、安倍首相は、この秋の臨時

せん。旧民進党系の政党全体で、自公を上回る支持を勝ち取らなければ、安倍政権の強権政治をやめさせることはできません。JAMと基幹労連が協力して田中久弥組織内予定候補者を国会に送り、政治の流れを変えましょう。

国会で憲法9条を改悪する改憲を国会で発議し、国民投票へつなげると公言しています。憲法に自衛隊が明記されれば、専守防衛を投げ捨てた安全保障関連法が合憲とされ、トランプ大統領の武器輸出攻勢と自民党の動向からみて、防衛費の拡大に歯止めがかからなくなります。旧民進党系が一本になると、一人区で野党が一本になることを望みますが、現在の旧民進党系の状況をみると、政党を選択しなければなりません。

職者連合人見会長も「当選を勝ち取り退職者の要求を実現させる力になって頂きたい」と続き、基幹労連シニア宮園会長は「JAMと基幹労連の組織力量が問われる選挙。中央・地方で基幹労連自らの候補者として取り組む」の姿勢を強調した。方針討議では現役はシニアからの組織拡大要請を重荷に感じ後ろ向きになっている事例や高齢者活動は現役にとても必要だとの認識が薄くなっているのでは、大手労組に協力してもらうにはどうするかなど苦悩する組織拡大に対し、JAMにとってメリットのある組織である認識をもってもらおうと結果に繋がるよう本部・地方で粘り強く要請していく。また地域丸投げの包括ケアシステムの問題やカジノ誘致反対運動などの要請意見がたされ、本部答弁後、活動方針、予算、政策実現活動の推進などすべての議案を満場一致で承認し大山会長の団結頑張ろうで閉会した。

参議院議員比例区 JAM組織内候補予定者



誰もが生き生きとして安心して暮らせる社会をめざして「田中ひさや」を応援しよう  
JAMは2019年に行われる参議院比例区の組織内予定候補として「田中ひさや」副会長を擁立することを決定した。これを受けて、JAMシニアクラブは第9回定期総会で「田中ひさや」副会長の推薦を決定した。議席獲得に向けてシニアクラブのみなさんごの支援をお願いします。



7月4日午後、ラポール京都にて「JAM京滋・京都府連絡会と京都シニアクラブとの連携強化懇談会」を、現役は青山勲会長、地協議長4名と事務局局長、JAM京滋書記長に出席いただき、シニアは木村正次会長、副会長など幹事会メンバー6名が出席し開催した。現役から春闘結果の説明の後シニアクラブ

都 京 「現・退連帯強化懇談会」開催  
具体的な取り組みの方向を確認

伊藤 忠男 通信員

の組織状況を説明。特に会員の減少と高齢化についてその背景を含め説明、従来から取り組んでいる会員加入活動を活性化させることは当然のこととして、①退職者組織のない単組での組織の設立②JAM京都OBの会への個人加入の呼びかけなど、シニア組織の活性化への協力要請を行った。

城 恒例の交流会を開催

茨 元気にグラウンドゴルフとカラオケ

井上 純一 通信員

7月25日、茨城シニア恒例の交流会を



「いこいの村沼沼」で18名が参加し開催した。中でも東京製綱OBの関口さんは最高齢の93歳と元気そのものでした。参加者の皆さんは車や送迎バスで定刻の11時に到着。すぐさまグラウンドゴルフ会場へ行き、各自クラブとボールを受取り、1組3〜4人編成・5組に分かれ、猛暑の中健康に配慮し、1コースを8ホールに短縮して2コースをプレーした。プレー後に表彰式を行い、優勝・安齋弘さん(東京製綱OB)2位・

知 交流を深める日帰りバスツアー  
木曾路・赤沢自然休養林・馬籠宿へ

熊谷 悠之 通信員

愛知シニアは、会員間のふれあい交流を通して「輪・話・和」を育み、人間関係の繋がりを大切にすることが組織強化拡大へと繋がることを旨に活動を展開してきた。今年度も定期総会で確認した活動の一環として、7月11日、ふれあい懇親交流会を実施した。

西日本豪雨による被害が各地に出て行きの実感が危ぶまれるのではと心配していたが、絶好の日和となった。行き先は信州・木曾路「赤沢自然休養林」と中山道43番目の宿場町「馬籠宿」。散策と森林浴が日頃の運動不足の解消と健康づくりの一役になればとの思いからの企画である。



参加者32名が名古屋市内の金山総合駅に予定時刻よりも早く受付を済ませ、気持ちはすでに木曾路へ。午前8時バスは出発。発車間もなく車中では参加者の会話が響き、西日本豪雨災害による被害

に胸が痛む、車中から被害に遭われた方、亡くなられた方にお見舞いとご冥福を捧げた。予定時間に少し遅れ赤沢自然休養林に到着。自然休養林は日本三大美林の一つで、樹齢300〜350年の木曾ヒノキの森、森林浴発祥の地でもあり2006年第1期セラピー基地の認定を受けた。森林鉄道の車窓から爽やかな木立の森を眺め、山あいの小道を歩きながら森林浴と資料館、森林鉄道記念館を見学した。昼食後は一路「馬籠宿」へ。古い町並みが復元され、石畳が敷かれた坂道の両側には土産物店が並び、一般の住家に当時の屋号表札が掲げられていた。また、町並みの中間点には旧本陣であった藤村記念館(島崎藤村生家跡)があり、往時に想いふけることが出来た。事故もなく無事に終えることが出来、今回の行事を通して会員間の繋がりがさらに深まり、組織強化に繋がることを願っている。